

Library news

川口市立高校 no.7 11月 2年2組 上村 岡田

～高校生にお勧めの本～

『こころ』 夏目漱石



こころとは、1914年に発表された、夏目漱石の代表作品です。三部で構成、されています。エゴイズム（利己主義）と人間の心の機微、犯した罪との葛藤が描かれており多くの人の心をつかんでいます。大学を卒業して帰省した私のもとに先生から遺書が届く、その生涯を打ち明ける。

先生は学生時代、美しいお嬢さんのいる下宿に、生活に困窮していた友人のKを同居させた。やがてKからお嬢さんへの恋心を打ち明けられ、Kの信条につけこんで恋を妨げようとし、更にKを出し抜いて奥さんからお嬢さんとの結婚の許しを得る。それを知ったKは自害し、その後お嬢さんと結婚した先生は妻にも真実を打ち明けられず、罪の意識を背負ったまま生き続ける。そして時代が明治から昭和の時代が変わる時、先生も自殺をする。そんな話です。

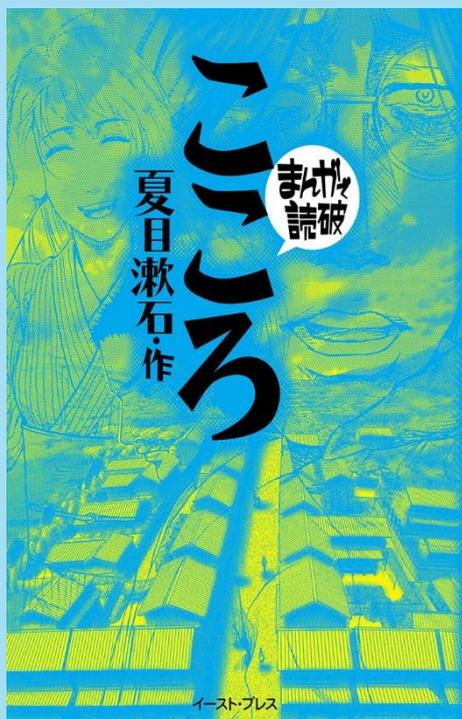
図書館で読むことができる!?

なんと、大正時代に出版された、漱石の作品も、図書館に置かれています！デザインも夏目漱石の直々のものです。ガッツリ本を読みたい、そんな方にお勧めです！

画像は出版社の承諾を得て掲載しています。



漫画版『こころ』



こころの作品を漫画にしたことでだれでも読みやすく、わかりやすい作品となっています。その場の様子や、情景が、わかりやすく描写されているため、すでに読み終わった人や、実は、よくわかっていなかった、忘れてしまった人でも簡単に、気軽に読むことができます。ストーリーの中には、原文にはない、ラブストーリーや深読みされ、より詳しいところがありとてもすばらしいものです。図書館にもありますので是非お読みください。

画像は出版社に許諾申請中

11月23日は勤労感謝の日！

ずっと昔、食べ物(農作物)を作っている人たちは、「今年もたくさんできてくれてありがとう」とその収穫の恵に感謝して、「新嘗祭(にいなめさい/しんじょうさい)」というお祭りをしていました(とても大切な儀式とされていました)。それが「勤労感謝の日」となり、「勤労を尊び、生産をお祝いし、国民互いに感謝しあう」日として国民の休日に定められました。わかりやすく言うと、お仕事をすることを大切にし、生活に必要なものを作り出すことをお祝いしたり、みんなで「ありがとう」と感謝し合いましょうという日です。

